

学校文法で言う所の形容詞＝い形容詞、形容動詞＝な形容詞と言います。

会話で「白い雪」とか「静かな夜」のように使われることが多いからです。

*英語では形容詞は young younger youngest の様な比較級、最上級の形で変化しますが、過去形は be 動詞が変化するだけで単語は変化しません。 He is young. He was young.

日本語では（白いです、白くないです、白かったです、白くなかったです）のような形で単語そのものが変化（活用）するので、この点が外国人にはわかりにくい点です。

X 「昨日はとても暑かったです。」 —— このような誤りが起こります。

→暑かったです。

*しかも「い形容詞」と「な形容詞」は異なる活用をします。

（静かです、静かじゃありません、静かでした、静かじゃありませんでした）

この点も外国人には分かりにくいので、何度も口に出して言わせて口になじませるようにするしか方法はあります。「きれい」は「な形容詞」です。

X 「昨日虹を見ました。とてもきれいかったです。」 → きれいでした。

正しい言い方を教えるだけでなく、どうしてそうなるのかを教えることが求められます。

*教える際に混乱するのが「欲しい」。これは英語では want 動詞ですが日本語では動詞ではなく「い形容詞」です。だから活用は（欲しい、欲しくない、欲しかった、欲しくなかった）です。

*また、「いい」も例外です。

X 「昨日の映画はあまりいくなかった。」 → 良くなかった。

「いい」の活用は特殊で（いい、良くない、良かった、良くなかった）です。

*「～したい」の「たい」は学校文法では「希望・願望の助動詞」ですが「みんなの日本語」の教科書では「欲しい」と共に「願望表現」として学習します。同じ変化（活用）をするからです。

（食べたいです、食べたくないです、食べたかったです、食べたくなかったです）

*属性形容詞と感情形容詞

a) 属性形容詞とは： 高い、低い、広い、静かな、など物事の客観的な性質・状態を表す。

b) 感情形容詞とは： 寂しい、嬉しい、悲しい、嫌な、というように感情を表す形容詞

故国に家族を残してきた外国人との会話

日本人 A : 「奥様や坊や、寂しがっているでしょうね。」

外国人 B : 「はい、私も寂しがっています。」 ?? 何かおかしい??

感情形容詞は私について表現する時はそのままだが、第三者の時は「がる」を付けるのがルール。

日本人 A が言っているのは第三者である奥様と坊やのことだから「寂しがっている」でOK.

外国人 B が自分のことを言うのに「寂しがっている」はおかしい。「私も寂しいです」となる。

＊「な形容詞」： 漢語やカタカナ語を取り込んでいるものがあります。「単語＋な」もOK

例) 危険な、複雑な、清潔な、高価な、好きな、嫌いな、ダメな、ハンサムな、スピーディーな、シンプルな、

＊「な形容詞」なのか「名詞＋だ」なのか迷ったら・・・・・・連体形に直してみる

例) 「彼が自殺した理由は謎だ」——謎の自殺——「の」は名詞と名詞を繋ぐ → だから「名詞」
「その部族の男は勇敢だ」——勇敢な男——名詞を修飾 → だから「な形容詞」

＊「小さな」「大きな」は「な形容詞」ですか？ No.

「な形容詞」は動詞にかかる場合は「～に」になる。 例) 静かになる

「い形容詞」は動詞にかかる場合は「～く」になる。 例) 新しくなる

「小さな」は動詞「なる」につながっても「小さになる」とは言わない。

「なる」につながると「小さくなる」

→ 「い形容詞」と同じ活用だから「い形容詞」が本籍地

(大きな、おかしい) も同じで、本籍地は「い形容詞」

4) 助動詞 : 日本語教育ではこの言葉は使いませんし、活用も教えません。

テンス、ムードなどの形式で扱われます。

学校文法では、意味によってたくさんの種類に分類されている (活用があたりして非常に複雑・面倒)				日本語文法では
意味				
使役	せる・させる			
受け身・自発・可能・尊敬	れる・られる			
打消し	ない・ぬ			▶ 「ない形」
推量・意志	う・よう			▶ 「意向形」
打消し推量・打消し意志	まい			
希望	たい・たがる			
過去・完了	た(だ)			▶ 「た形」
丁寧	ます			▶ 「ます形」
推定・伝聞	らしい・ようだ・そうだ			
断定	だ・です			
日本語教育では例文をいろいろと示して、その意味を理解させて、実際に使えるように することを主眼にしている。				

以 上